



オーバーヘッドドア

- 主として住宅用のガレージに使用します。

オーバーヘッドドアの概要

<セクション構造>

セクション及び補強材の板厚を限定し、切り破りに強い構造。

<明かり窓>

大きさ、設置高さを制限し、防犯性を向上。



<錠構造>

駆動装置により、セクションをロック。

<CPラベル>

セクションにCPラベルを貼付。



防犯商品の特長

- 1 開閉方式を限定することで、一番下のパネルこじ開けに対し強い構造となっています。
- 2 パネルは、板厚が0.5mm以上の鋼板製で、裏面に補強材を設置することで切り破りに強い構造となっています。
- 3 明かり窓を設置する場合は、高さ1800mm以上に限定する等で防犯性に配慮しています。
- 4 パネルの両側は、こじ開けようとしても端部にあるローラがレールから外れにくい構造となっています。
- 5 スイッチボックスは、ピッキングに強い錠前を使用し、また穴開け・こじ開けにも強い構造となっています。
- 6 上記と同等以上の性能を有し、オーバーヘッドドアの防犯性能の試験に合格した製品。

【抵抗時間】

侵入者が主にセクションのこじ開け、切り破りなどの行為を開始してから建物内部に侵入が可能になるまでの時間を「抵抗時間」と呼び、各商品ごとに定められた試験を行い、抵抗時間が5分間以上であることを確認されたものが「防犯性能の高い建物部品」(CP製品)として目録公表されています。

※ ご注意

CP製品は、客観的に評価された防犯性能を有する製品ですが、侵入を完全に防ぐものではありません。従って、侵入犯罪による物品の損害も同様に損害賠償の対象とはなりません。